

Program

日本ナス科・ウリ科ゲノム合同国際シンポジウム
プログラム

3月5日(土) 於: 岡山大学創立五十周年記念館

13:00-13:10 開会の挨拶

<基調講演>

13:10-13:45 「トマトゲノミクスの時代」

田畑 哲之 (かずさ DNA 研究所)

13:45-14:20 "Hystrix project: progress and perspectives"

Dr. Jin-Feng Chen (College of Horticulture, Nanjing Agricultural University, China)

14:20-14:55 "Breeding Solanaceous Vegetables for Food and Nutritional Security in Africa"

Dr. Chris Ojiewo (The World Vegetable Center, Regional Center for Africa, Tanzania)

14:55-15:10 休憩

<一般招待講演>

15:10-15:30 「マイクロームゲノム解読の進捗状況」

青木 考 (かずさ DNA 研究所)

15:30-15:50 「メロンおよびキュウリにおけるミトコンドリアゲノムマーカー (mtIREP) の開発と利用」

加藤 鎌司 (岡山大学自然科学研究科)

15:50-16:10 "Retrotransposon and the evolution of a newly synthetic allopolyploid in Cucumis"

Dr. Qunfeng Lou (College of Horticulture, Nanjing Agricultural University, China)

16:10-16:20 休憩

16:20-16:40 「日本に導入されたメロン -DNA 考古学に基づく知見」

田中 克典 (総合地球環境学研究所)

16:40-17:00 「薄皮F1トマトの開発とナス科・ウリ科の「ひも」栽培手法」

榊田 正治 (岡山大学自然科学研究科)

17:00-17:20 「中性植物トマトにおける花成制御」

後藤 弘爾 (RIBS 岡山)

17:20-17:40 「黄化葉巻病ウイルス(TYLCV)感染時におけるトマトの網羅的遺伝子発現解析」

横谷 尚起・野口 有里紗・永田 雅靖・藤原 和樹・大西 純・今西 俊介
(野菜茶業研究所)

終了後-19:30 ポスターセッション

3月6日(日) 於: リーセントカルチャーホテル 6F センピオーネ

<一般招待講演>

- 9:00-9:20 「加工用トマトにおける重要形質と分子遺伝学」
中村 浩介 (カゴメ株式会社 総合研究所)
- 9:20-9:40 「トマト果実における γ -アミノ酪酸 (GABA) 代謝制御様式の解明と GABA 高含有品種の開発」
松倉 千昭 (筑波大学)
- 9:40-10:00 「組換えトマトを利用したミラクリン生産システムの開発」
棚瀬 京子 (筑波大学)
- 10:00-10:20 「タバコ培養細胞の糖鎖エンジニアリングと抗体生産」
藤山 和仁 (大阪大学)
- 10:20-10:30 休憩
- 10:30-10:50 「ミスマッチ特異的エンドヌクレアーゼを用いた F1 品種における野生種由来染色体領域の推定」
津金 胤昭¹・柴田 大輔² (¹千葉農林総研セ, ²かずさ DNA 研)
- 10:50-11:10 「キュウリ病害抵抗性の QTL 解析」
吹野 伸子 (野菜茶業研究所)
- 11:10-11:30 「キュウリのズッキーニ黄斑モザイクウイルス (ZYMV) 抵抗性遺伝子のマッピング」
天野 政史 ((株) 埼玉原種育成会)
- 11:30-11:50 「DNA マーカーを用いたスイカの育種」
橋詰 利治 ((株) 萩原農場)
- 11:50-12:40 昼食 (JSOL 運営委員会)
- 12:40-13:00 「Cucumis 属野生種とメロンの種間交雑不親和性に対する高温の効果」
松本 雄一 (茨城県農業総合センター生物工学研究所)
- 13:00-13:20 「NBRP トマトの現状と将来への展望」
有泉 亨 (筑波大学)
- 13:20-13:40 「筑波大学-INRA ボルドージョイントラボ (TIL) の活動と将来展望」
浅水 恵理香 (筑波大学)
- 13:40-13:50 SOL&ICuGI2011 について
- 13:50-14:00 閉会の挨拶
- 14:20-15:00 フィールド科学センター見学 (希望者のみ)